

創業・新事業展開型 株式会社アステック

独自技術で環境修復に取り組むエンジニアリング企業

近畿支部 プロジェクトマネージャー 鳥淵 浩伸

【ポイント】～事業推進に公的支援を活用して成長の足がかりに～

当社は、自社開発の技術で土壌・水環境を修復するエンジニアリング企業である。市場環境の変化の中で、今後成長するためには、「わが社のユニークな技術・商品をいかに展開していくか」という検討が必要である」との判断から、専門家派遣制度を活用した取り組みを行った。この取り組みにより、自社の進むべき方向が明確になり、また、プロジェクトを進める若手を中心とした体制が成長への原動力となってきた。

今後も各種施策を活用しながら、これまで培ってきた内容を引き続き実践し、より環境負荷の小さい、低コスト・低エネルギーの環境修復技術を広く展開していく。

企業概要

- ▶ 企業名：株式会社アステック
- ▶ 業種：環境エンジニアリング
- ▶ 本社所在地：兵庫県姫路市岩端町107-4
- ▶ 資本金：48百万円
- ▶ 設立：昭和60年6月
- ▶ 売上高：659.3百万円（平成21年3月）
- ▶ 従業員数：17名



代表取締役 森本一生社長

株式会社アステックは、建設関連の販売会社の環境部門を独立させる形で昭和60年に創業された企業である。事業の中心は、水質浄化・土壌浄化などの環境修復や工場排水処理などであり、調査から装置アセンブリ・運転管理までの一体作業を得意としている。

同社が実施する環境修復技術は、ほぼすべてが自社開発されたものであり、より環境負荷が小さく、低コスト・低エネルギーを目指して継続的な開発が進められている。環境修復技術を開発する中で、並行して処理に用いる薬剤類も開発しており、ヒ素吸着剤やアルミフリー無機系凝集剤といったユニークな商品が、実際に現場で使用され高い評価を受けている。

【製品・プラントの一例】



水質浄化装置 土壌浄化プラント アルミフリー水処理剤

中小機構とのかかわりは、スタートアップ補助金（事業化助成金）の採択がきっかけである。当該助成事業は、「天然鉱物の風化粘性土を原料とした高性能凝集剤の開発とその事業化」をテーマとしたものであり、アルミフリー凝集剤の事業化を図るものであった。

この助成事業を進めるにあたって、事業化支援プロジェクトマネージャーとのディスカッションを繰り返すなかで専門家派遣制度を紹介、利用の検討を進めることとなった。

支援課題の設定とプロジェクトマネージャーの視点



鳥淵浩伸 プロジェクトマネージャー

ディスカッションの中で課題としてあげられたのは、「受注率と粗利益率が下落傾向にあり、営業面での見直しが必要ではないか？」ということであった。そのためには、「自主的に考えて活動していける新しい組織体制作りが必要である」という結論に達し、ハンズオン支援によって取り組んでいくこととした。具体的には、『全社のマーケティング戦略策定と推進』をテーマに、取り組み課題を明確化し、実行することによって組織力強化を図れるような専門家派遣を実施した。

支援内容と支援成果

専門家派遣の受入体制は、社長を中心とした若手によるプロジェクトとされた。具体的には次のステップで、全社のマーケティング戦略を構築、実行していった。

第一段階：事業環境を分析し、集中すべき分野を明確化して計画を立てる

第二段階：『姫路城お堀浄化』の事例を活用して、計画を着実に実行するための仕組みを構築する

第三段階：PDCAを自らの力でまわしていく能力を養成する

これらの活動によって、自社の柱として資源を集中する分野が明確化され、顧客およびその獲得のための手法も蓄積されていった結果、①

水処理関係売上比率の向上（売上変動の抑制・利益率向上）、②アプローチ先の変化（ゼネコン中心からメーカーへのシフト）、③継続的受注の拡大等、経営体質の大きな変化につながった。



水処理プラント外観



1 Day処理実施のようす

姫路城お堀浄化プロジェクト

改革は地ならしが済んだ段階であり、まだ大きな成果が得られるまでには至っていない。しかしながら、世界同時不況という経営環境の大変化が起きる前に、進む方向を変えていたことが逆に成長のチャンスにつながってきている。営業力・技術力のさらなる強化など課題は残っているが（窓口相談などを活用しつつ）着実なステップアップを期待したい。

経営者のことば

専門家派遣や様々なご相談などのご支援を頂いたおかげで、若い組織ながら自分達で事業を切り開くという意識が持てるようになり、成果も徐々にではあるが上がり始めていると手応えを感じています。

外部環境は厳しい面もありますが、こういう時こそ「顧客の目線で」使い易い本物の環境技術を提供しようと皆で一丸となって取り組んでおります。

会社も私も毎日少しずつですが成長していると実感しており、関係各位には大変感謝しております。